

表1：要介護要支援認定者数の推計

	平成13年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
総人口	150,310人	152,803人	153,591人	154,380人	154,921人	155,464人
65歳以上人口	26,653人	27,874人	28,443人	29,012人	29,531人	30,052人
要介護要支援認定者数	3,756人	4,117人	4,266人	4,416人	4,568人	4,721人

表2：サービスごとの方針

サービス区分		方 針	備 考
居宅サービス	訪問系サービス 訪問介護（ホームヘルプサービス） 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導	サービスの利用を保険料の所得段階が第1段階の人は現在の2倍に、第2～5段階の人は、約1.3倍に増やす。	訪問系サービスについて、居宅サービスの利用を促進する（前ページ参照）のために利用料助成を行う。
	通所介護（デイサービス）	定員を60人分（2施設）増やす。	現在の定員 380人 計画の定員 440人（1.16倍）
	通所リハビリテーション	定員を40人分（2施設）増やす。	現在の定員 308人 計画の定員 348人（1.13倍）
	痴呆対応型共同生活介護（グループホーム）	新たに30人分の施設を整備する。	平成13年10月利用者20人 平成14年10月利用者50人 平成17年10月利用者（推計）82人
施設サービス	介護老人福祉施設	新たに80床を整備する。	平成13年10月利用者477人 平成17年10月利用者（推計）565人
	介護老人保健施設	新規整備なし。	平成13年10月利用者344人 平成14年10月利用者434人 平成17年10月利用者（推計）440人
	介護療養型医療施設	新たに40床を整備する。	平成13年10月利用者152人 平成17年10月利用者（推計）200人
その他のサービス	その他のサービス	若干の自然増を見込む。	住宅改修、短期入所生活介護、福祉用具貸与など

表3：介護サービス利用の推計

		平成13年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
居宅サービス	利用者数	1,642人	1,741人	1,805人	1,847人
	総費用	1,845,053千円	2,560,011千円	2,732,577千円	2,911,176千円
	（対平成13年度伸び率）	100%	139%	148%	158%
	居宅介護支援（ケアプラン作成支援）	141,297千円	147,132千円	152,703千円	153,764千円
施設サービス	利用者数	973人	1,085人	1,125人	1,205人
	総費用	3,935,852千円	4,388,550千円	4,588,013千円	4,889,022千円
	（対平成13年度伸び率）	100%	112%	117%	124%

表4：介護保険料の算定

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	合計
サービス給付費見込額	6,428,054千円	6,784,178千円	7,230,887千円	20,443,119千円
保険料収納必要額（A）	1,135,626千円	1,197,800千円	1,275,428千円	3,608,854千円
第1号被保険者数	27,874人	28,443人	29,012人	85,329人
補正後被保険者数（B）（注）	28,153人	28,727人	29,302人	86,182人
保険料月額（A÷B÷12か月）	3,490円（現行2,875円） 介護報酬の改定により、若干の変更があります。			

（注）保険料の所得段階別負担割合を各所得段階の人口に乗じて、基準額（保険料第3段階）の被保険者数に換算したものです。